

80th

KURUME UNIVERSITY SINCE 1928
久留米大学は2008年に創立80周年を迎えます。

創刊号

Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

2006.10

No.001

News



私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

- 1 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
- 2 十分な説明と同意のもとに、最新で安全な医療を行います。
- 3 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
- 4 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

〈久留米大学医療センターホームページ〉

<http://iryo.kurume-u.ac.jp/>

Contents

- 病院長挨拶
- 平成18年5月 入院棟オープン!!
- 平成19年5月 外来棟オープンに向けて
- 市民健康フォーラム開催
- 外来診療一覧表

久留米大学医療センター 〒839-0863 福岡県久留米市国分町155-1 TEL 0942-22-6111(代)

病院長挨拶

久留米大学医療センターは平成6年7月に旧国立久留米病院からゆずり受けて開設しましたが、当初からの念願であった病院の新築工事が漸く平成17年3月に始まり、本年5月に新入院棟がオープンしました。現在来年4月の完成を目指して外来棟の工事が順調に進んでいます。この機会に私共医療センターを理解していただき、皆さまとの交流をはかるために広報誌を発行することになりました。まずこれまでの皆さまの温かいご支援に心から御礼申し上げます。

さて、新しい入院棟では皆さまに1日でも早く回復していただける様に、次の様な配慮を行っております。

- 1) 全室に大きな明るい窓のある部屋を用意しました。
- 2) 個室も大幅に増やし、手頃な料金でご利用いただけます。
- 3) 4人部屋も各々のベッドに窓があり、個室の雰囲気でも療養していただけます。
- 4) 小児科では子供さんが治療を受けやすいように全部2人部屋を用意しています。
- 5) 南側には明るく広いデイルームを設けております。
- 6) 手術室を3室から5室に増やし、手術待ちを少なくしました。

医療センターは少し高台にありますので、南側には高良山や明星山が、北側には久留米市街の眺望がよく、皆さまに大変好評です。私共医療センターは久留米大学医学部の附属病院として、最先端で高度な医療を広く皆さまに利用していただくための病院です。したがって、5人の教授、3人の助教授をはじめ優秀な医師、看護師、コメディカルスタッフなど合計330人が皆さまの診療を行っています。しかもベッド数300の中規模の病院で、各診療科やスタッフの間の連絡がよく小回りが効きますので、身近な病院としてご利用いただきたいと思います。

私共の病院には、2つの治療センターと15の診療科があります。今回は創刊号ですので、各科で現在力を入れている主な診療内容を簡単に紹介致します。

- 1) リウマチ・膠原病センター・内科：科長 福田孝昭教授（副院長）、整形外科：科長 樋口富士男教授
西日本の関節リウマチ治療のメッカとして、内科チームは新しい治療法の実践開発に取り組んでいます。整形チームによる人工関節の手術には定評があり、長年関節の痛みで苦しんでこられた方々に福音を与えています。
- 2) リハビリテーションセンター：科長 梅津祐一助教授
設備の整った広く明るいリハビリホールで、脳卒中や整形外科の手術後の方々のリハビリを行っており、優れた効果をあげています。また回復期リハビリ入院棟を併設しています。
- 3) 循環器科：病院長 古賀義則教授、科長 池田久雄教授
狭心症・心筋梗塞のカテーテル治療に優れた成績をあげています。また心筋症、心不全の治療は高く評価されており、最近は生活習慣病、メタボリックシンドロームや、日帰り血管ドッグに力を入れています。
- 4) 消化器科：科長 田中正俊助教授
慢性肝炎、肝硬変、難治性肝癌の治療は高く評価されており、海外からも研修に訪れています。また食道・胃・大腸の内視鏡治療も好評です。
- 5) 外科：科長 孝富士喜久生助教授
胃の手術には定評があり、胆石やヘルニアは内視鏡手術も行っています。
- 6) 小児科：科長 伊藤雄平教授（副院長）
専門は小児の腎臓病や糖尿病などの生活習慣病ですが、小児科総合や時間外の急患にも対応しています。

この他産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、脳卒中科、麻酔科（ペインクリニック）、放射線科でも各々の専門医が診療にあたっています。また毎週月・水・金の午前中には泌尿器科、火（午前中）、金（午後）には呼吸器科、月（午前・午後）、木（午後）には心療内科の診療を行っています。

私共久留米大学医療センターは、「皆さまと心が通い、信頼される医療」を理念としています。いつも最新で安全な医療を行い皆さまの健康と福祉の向上に努めます。これからも皆さまの温かいご指導とご支援をお願い致します。



病院長：古賀 義則

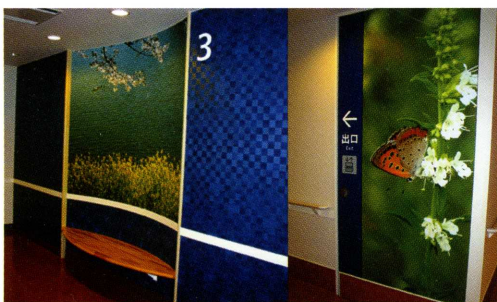
平成18年5月 入院棟オープン!!

平成18年5月に入院棟がオープンいたしました。入院棟の特徴としては、物理的にも心理的にも常に患者様中心であるナイチンゲール病棟の原点を活かしながら、1看護単位あたり50床かつ個室率24%、1ベッドあたり8㎡の療養環境加算、将来療養病棟へ移行できる廊下幅や食堂面積を確保しています。旧病棟と比較しても療養環境の向上、看護動線、患者様のプライバシーを同時に実現していると考えます。また、スタッフステーションの四隅のカウンターからは、各病室の見通しがきくため、患者様に見守られているという安心感を提供するとともに、入院棟出入口を限定することで患者様セキュリティにも配慮しています。

このような環境を基に、患者様がより快適に入院生活を過ごせるようサポートするとともに、1日も早いご回復を職員一同願っております。

入院棟案内

5階	5階東入院棟 理容室 小児科・産婦人科 リウマチ・膠原病センター	
4階	4階東入院棟 消化器科・皮膚科	4階西入院棟 外科・泌尿器科
3階	3階東入院棟 循環器科・脳卒中科・耳鼻咽喉科	3階西入院棟 整形外科・眼科
2階	手術室／病理検査室	
1階	売店・栄養室	



〈エレベーターホールや入院病棟出入口〉
大きな写真をディスプレイし安らぎを提供しています。



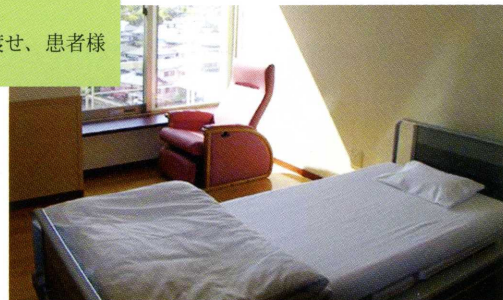
〈デイルーム〉
南側にあるデイルーム。光あふれる場所で患者様の憩いの場としてくつろいでいただけます。



〈スタッフステーション〉
病室の中央に位置し、入院棟全体を見渡せ、患者様に安心感を提供いたします。



〈キッズルーム〉
小児科入院棟には広いキッズルームがあり、病室はすべて2人部屋としています。



〈病室〉
明るく降り注ぐ光と十分なベッド間隔で感染防止だけでなく、よりよい療養環境を提供します。

平成19年5月 外来棟オープンにむけて

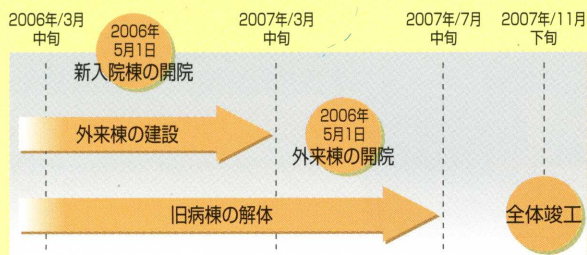


現在、平成19年5月の外来棟オープンに向け、工事が行われております。外来棟が完成いたしますと先にオープンいたしました入院棟と合わせて新しい医療センターとして生まれ変わることとなります。

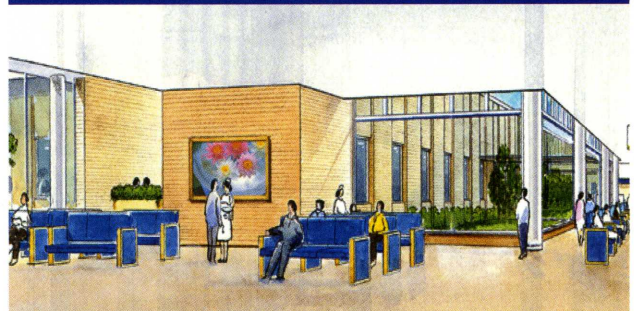
新しい外来棟では15診療科35診療室で稼動する予定です。院内は静かな環境が保たれるように、玄関から入院棟への通過動線や喧噪の多い中央受付廻りから外来部を完全に分離独立させた配置としています。通過動線がなく、診療室も天井までの間仕切りとしてプライバシーを確保しているため、外待ち・中待ちの区分をしていません。どの待ちスペースからも自然光が感じられるように、樹木の植えられた大きなライトコートを設け、自然の光と風に満ち、緑の見える静かな待ち環境を目指しています。

外来棟は来年5月にオープンしますが、それ以降駐車場の整備を行い駐車台数の増加と利便性の向上を図り、路線バスが医療センター内に発着できるよう外来棟玄関前を含め敷地内の環境整備・美化を推進し、患者様が利用しやすい病院作りを計画しております。工事期間中は皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願い致します。

外来棟完成までのスケジュール



外来棟待合室イメージ



平成19年5月完成予想パース



外来棟エントランスホールイメージ



医療センター市民健康フォーラム開催

平成18年9月23日（土）に、医療センター附属棟2階大ホールにおいて「市民健康フォーラム」を開催いたしました。市民公開講座は、開設10周年記念行事として久留米市文化センター共同ホールで開催いたしました。平成18年5月に新入院棟がオープンし、8月には仮設病棟を会議室及びホールに改修したことで念願であった医療センター内にて開催することができました。

健康測定と個別相談では、身長・体重測定から血圧・体脂肪率・腹囲（内臓脂肪）・血糖・骨密度測定を行い、各診療科の医師・看護師・薬剤師・技師らによる個別相談を実施いたしました。

講演会では「明日の健康を語る」と題し、最初に医療センター副院長、リウマチ・膠原病科福田孝昭教授より「手・足が痛くなったら」、次に医療センター副院長、小児科伊藤雄平教授より「尿にタンパクが出たら」、最後に医療センター病院長、循環器科古賀義則教授より「胸が痛くなったら」の講演を行いました。

たくさんの市民の方にご来場いただき、誠にありがとうございました。また、後援いただきました、久留米市、久留米医師会、久留米学術研究都市づくり推進協議会の皆さまに、この場を借りて御礼申し上げます。

また、この「市民健康フォーラム」は毎年開催していきたいと考えておりますので、ぜひともご参加いただきますようお願い致します。

健康診断と個別相談



骨密度測定



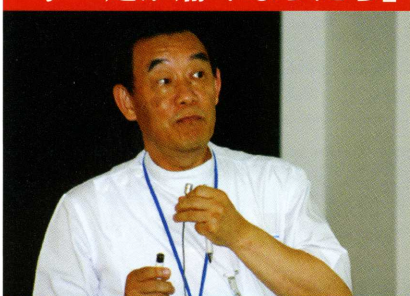
血糖測定



個別相談

講演会 ～明日の健康を語る～

『手・足が痛くなったら』



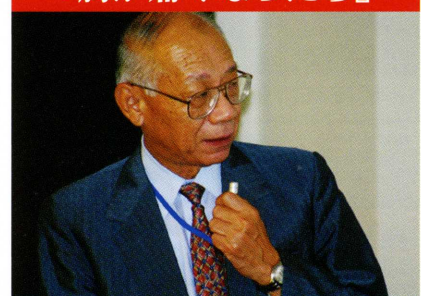
リウマチ・膠原病センター 教授
副院長 福田 孝昭

『尿にタンパクが出たら』



小児科 教授
副院長 伊藤 雄平

『胸が痛くなったら』



循環器科 教授
病院長 古賀 義則

外来診療一覽

診療科名	月	火	水	木	金
一般内科	中島 裕	草場 健	加地 正英	原田 晴仁	村島 史朗
内科	加地 正英	鮎川 竜佑	加地 正英	加地 正英	加地 正英
呼吸器科(午前) (午後)		古賀 丈晴			松本 久美
消化器科	中島 裕 工藤 まいさ 原田 和徳	村島 史朗 田中 正俊	酒見 美幸 原田 和徳	中島 裕 田中 正俊	村島 史朗 酒見 美幸
循環器科	池田 久雄 加藤 宏司 古賀 義則	池田 久雄 森田 博彦 草場 健	池田 久雄 加藤 宏司 古賀 義則	古木 久美子 原田 晴仁 草場 健	原田 晴仁 森田 博彦 古賀 義則
脳卒中科	馬場 敦子	馬場 敦子	馬場 敦子	馬場 敦子	馬場 敦子
精神科(午前) (午後)	森 圭一郎 座親 扶美江			小城 公宏	
小児科	伊藤 雄平 山岡 俊彦	牛島 高介 山岡 俊彦	伊藤 雄平 升 永久美子	伊藤 雄平 牛島 高介 山岡 俊彦	伊藤 雄平 牛島 高介 山岡 俊彦
(専門外来)	腎 臓	腎 臓 内 分 泌	腎 臓	ア ト ビ ー 消化器・肝臓	腎 臓 小児成人病
外科	孝富士喜久生 中川 元典	二又 泰彦 藤木 啓	孝富士喜久生 亀井 英樹 藤木 啓	孝富士喜久生 亀井 英樹	二又 泰彦 村上 直孝
整形外科	樋口 富士男 後藤 昌史 伊藤 伸一 石橋 裕美子	後藤 昌史 14:00~16:00 専門外来予約のみ 金澤 武利	樋口 富士男 伊藤 伸一	午前 休診 後藤 昌史 14:00~16:00 専門外来予約のみ	樋口 富士男 〔リハビリ棟〕 金澤 武利 手術により変更あり
リウマチ・ 膠原病センター	福田 孝昭	福田 孝昭 後藤 明子	後藤 明子	福田 孝昭 後藤 明子	福田 孝昭 後藤 明子
リハビリテーション科	梅津 祐一 名護 健	梅津 祐一 (交代医)	梅津 祐一 荻野 美佐	梅津 祐一 名護 健	名護 健
皮膚科	西岡 昭二	西岡 昭二	西岡 昭二	西岡 昭二	西岡 昭二
泌尿器科(午前のみ)	(交代医)		(交代医)		(交代医)
産婦人科	上妻 益隆	上妻 益隆	(交代医)	上妻 益隆	上妻 益隆
眼 科	渡邊 志穂	渡邊 志穂	渡邊 志穂 斜弱外来AM・PM	渡邊 志穂 斜弱外来PMのみ	渡邊 志穂
耳鼻咽喉科 (特殊診療)	菊池 淳	菊池 淳	菊池 淳	菊池 淳	菊池 淳 補聴器
放射線科 (画像診断)	小島 和行	小島 和行	小島 和行	小島 和行	小島 和行
麻酔科 (ペインクリニック)					大石 一男

平成18年11月2日現在

※交代医は大学病院からの派遣医師です。

編集後記

新病院建設中に伴い、本院近隣にお住まいの方々、当院ご利用の方々に多大なるご迷惑をおかけしています。本誌でも取り上げていますが、来春には新病院が完成する予定です。ところで、来春のオープンに向けて病院の建設現場では猫の手も借りたい忙しさで、猫が作業に従事しておりました(写真)?実は迷い猫、登っていった後あまりの高さに座り込み動けなくなった模様、数時間後作業員の方が気づき地上に降ろされたそうです。このような珍事件もありましたが建設作業は順調に進んでいますのでご安心ください。本誌をお手に取られた方にとって有意義なものとなるよう今後も努力を行っていきます。本誌ならびに久留米大学医療センターを今後もよろしく願っています。(画像センター 山本 直樹)

